

# 小値賀町子ども読書活動推進計画



令和6年5月

小値賀町教育委員会

はじめに

「私が子どもの頃にこのような図書館があったなら、私の人生は違ったものになったかもしれない。」これは、当町に図書館が開館した際に、あるご高齢の方がおっしゃられた言葉だそうです。一冊の本との出会いが、その人の人生を変えることがあると言われますが、人生を長く生きてきた方の言葉の重さに、読書の大切さを改めて感じさせられます。

しかし近年、タブレットやスマートフォンなど、情報メディアの普及により、子どもを取り巻く生活環境は大きく変化し、容易に情報が得られる一方、子どもたちの活字離れが進み、読書の時間が減少しています。

すべての学びの原点には「言葉」があります。子どもの読書活動は、子どもが言葉を学び、感性を磨き、思考や表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより良く生きる力を身に付けていくうえで、とても大切なものです。このような力を子どもが身に付けていくためにも、大人が読書の意義を理解し、子どもと本をつなぐ役割を果たし、発達段階に応じた質の高い読書を提供するために、社会全体で子どもの読書活動を支えていく必要があります。

小値賀町では、「教育愛と郷土愛」の考え方を基本として、「心豊かな教育と文化の町」を目指し、人間形成の基礎を培う乳幼児教育の充実や「一人ひとりの夢の実現」を目標として平成20年度から取り組んでいる小中高一貫教育の充実などを念頭に教育活動を進めています。

今回策定した「小値賀町子ども読書活動推進計画」は、上記のような考え方に基づき、国、県の計画を基本としながら、子どもの読書環境を計画的に整備し、子どもの発達段階や状況に応じた読書活動を支援するための計画です。

この計画に基づき、家庭・地域・学校を通じて、多くの町民の皆様と連携・協働しながら、子どもの読書を推進してまいります。

結びに、本推進計画の策定にあたり、熱心にご審議いただきました小値賀町子ども読書活動推進計画策定委員の皆様には厚くお礼申し上げます。

令和6年5月

小値賀町教育委員会  
教育長 中 村 慶 幸

## 目 次

1	第1章 基本的な考え方.....	1
1	1 計画策定の背景・目的.....	1
2	2 基本方針.....	1
3	3 計画の対象.....	2
4	4 計画の期間.....	2
2	第2章 子どもの読書活動の現状と課題（アンケート調査から）.....	3
3	第3章 子どもの読書活動に推進に向けた取組.....	18
1	1 こども園における読書活動の推進.....	18
2	2 学校における読書活動の推進.....	19
3	3 家庭における読書活動の推進.....	20
4	4 地域における読書活動の推進.....	21
5	5 図書館における読書活動の推進.....	22
4	第4章 計画の数値目標.....	23
5	参考資料	
	子どもの読書活動の推進に関する法律	
	小値賀町子ども読書活動推進計画策定委員会設置要綱	
	小値賀町子ども読書活動推進計画策定委員名簿	

## 第1章 基本的な考え方

### 1 計画策定の背景・目的

○国において、平成13年12月に「子どもの読書活動の推進に関する法律」が制定され、長崎県においても国の計画を受ける形で5年ごとに計画が策定され、現在は「第五次長崎県子どもの読書活動推進計画」の策定に取り組んでいます。これらの国や県の子どもの読書活動に関する動向を踏まえ、小値賀町においても、子どもの読書活動の推進に関する施策についての方向性や取組を示し、具体化することを目的に「小値賀町子ども読書活動推進計画」を策定するものです。

○読書は、子どもが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身につけていく上で欠くことのできないものです。少子高齢化や核家族化により、子どもたちを取り巻く環境は大きく変わり、さまざまな体験の不足やコミュニケーション能力の低下が生きる力の育成の課題となっています。インターネットなどデジタル情報メディアの普及発達は、子どもの生活習慣や読書・活字離れ等の読書環境に大きな影響を及ぼしており、社会全体で子どもの読書活動の推進を図っていくことは大変重要です。

○町立図書館が核となり、こども園や学校、図書館ボランティア等による連携した取り組みを進め、子どもが読書を通して幅広い知識を身につけ、心豊かにたくましい“すつてくろ（おちかっ子）”に成長することを願い、子どもが自ら本に親しむ機会の創出と読書環境の整備充実を目指すものです。

### 2 基本方針

この計画を推進し実現させるため、以下の基本方針のもと、各施策に取り組んでいきます。

(1) こども園・学校・家庭・地域等において、子どもの発達段階に応じた読書に親しむ機会の充実を図ります。

(2) 町立図書館をはじめ、こども園、学校図書館の整備充実を図り、子どもが本に親しみやすい読書環境をつくります。

(3) 町立図書館職員や教職員、保育教諭、図書館ボランティア等、子どもと本を結びつける人材の育成、充実を図ります。

(4) 町立図書館を核とし、こども園、学校等、子どもの読書活動に関わる機関の緊密な連携、協力を図り、横断的な読書活動を推進します。

### 3 計画の対象

この計画の対象は、乳幼児・小学生・中学生・高校生を中心とした「おおむね18歳以下のすべての子ども」とします

### 4 計画の期間

この計画の期間は、2024年度(令和6年度)から2028年度(令和10年度)までの5年間とします。



## 第2章 子どもの読書活動の現状と課題

小値賀町では、町立小・中学校の協力を得て、町の小・中学生の読書活動の実態を把握するため、子どもの読書活動状況のアンケートを実施しました。

◇実施期間：令和5年7月

◇対象：小値賀小学校(大島分校含む)全児童、小値賀中学校全生徒、及びその保護者

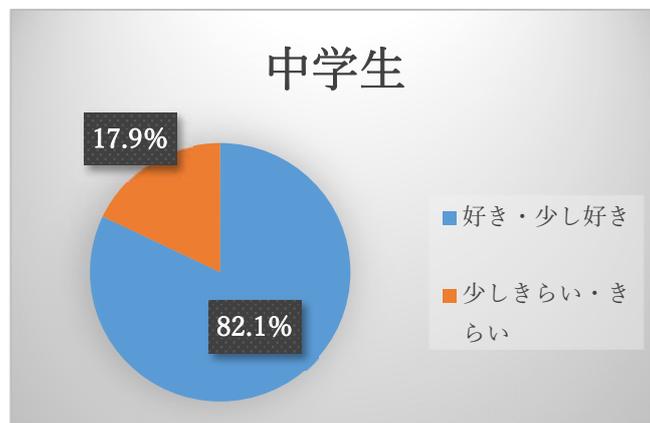
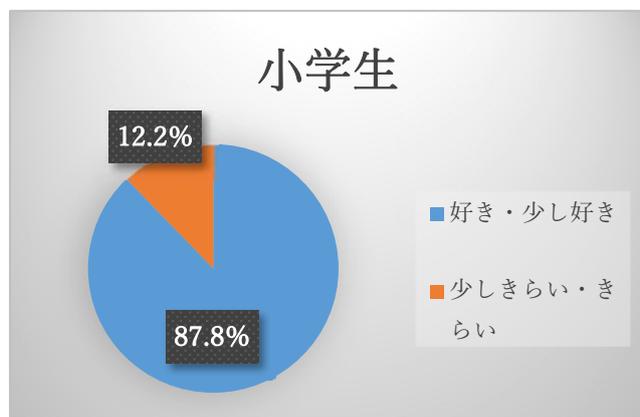
◇回収率：・小学生(1～6年)児童数 81名(回答数74名) (回答率 91.4%)  
 ・中学生(1～3年)生徒数 42名(回答数39名) (回答率 92.9%)  
 ・小学生(1～6年)保護者 81名(回答数78名) (回答率 96.3%)  
 ・中学生(1～3年)保護者 42名(回答数39名) (回答率 92.9%)

### [子どもたちへの読書アンケート]

#### ●【問2】「あなたは、本を読むことが好きですか？」

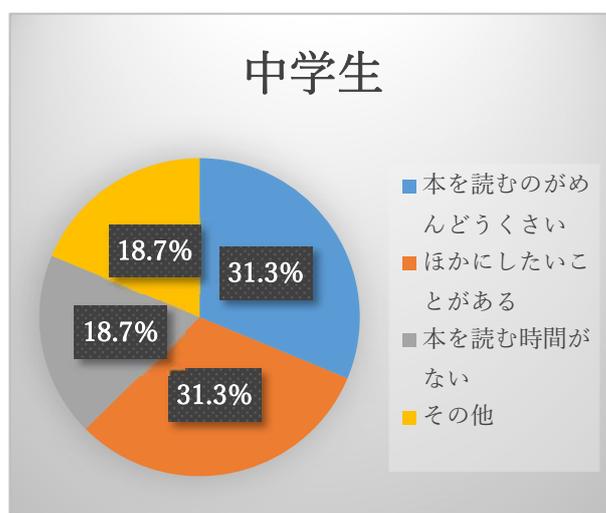
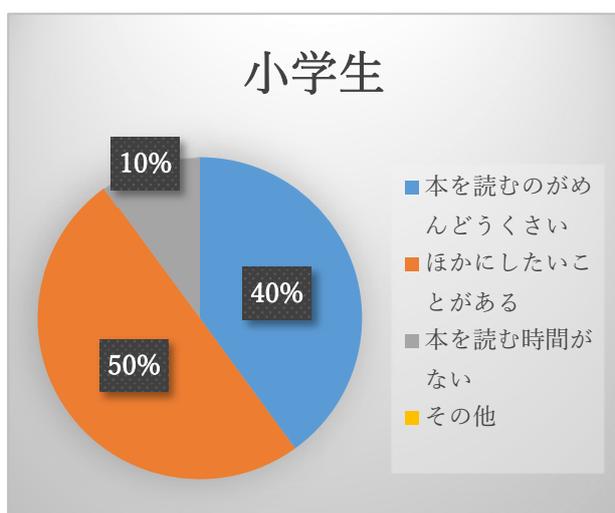
読書の「好き」「嫌い」をたずねた設問に、「好き」「少し好き」と答えた子どもたちは、小学生で87.8%、中学生で82.1%、全体で85.8%と高い数値を示しました。一方、「少しきらい」「きらい」と回答した子どもは、小学生から中学生へと学年が上がるにつれ増加しています。

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	人数	割合%	中1	中2	中3	人数	割合%	合計人数	割合合計%
①好き	4	15	7	5	9	5	45	60.8	7	2	5	14	35.9	59	52.2
②少し好き	2	2	4	4	2	6	20	27.0	6	6	6	18	46.2	38	33.6
③少しきらい	0	0	1	1	1	2	5	6.8	0	2	2	4	10.2	9	8.0
④きらい	0	0	0	0	1	3	4	5.4	2	1	0	3	7.7	7	6.2
合計	6	17	12	10	13	16	74	100.0	15	11	13	39	100.0	113	100.0



●問2で ③少しきらい④きらい と答えた人へ、どうしてきらいですか？(複数回答)

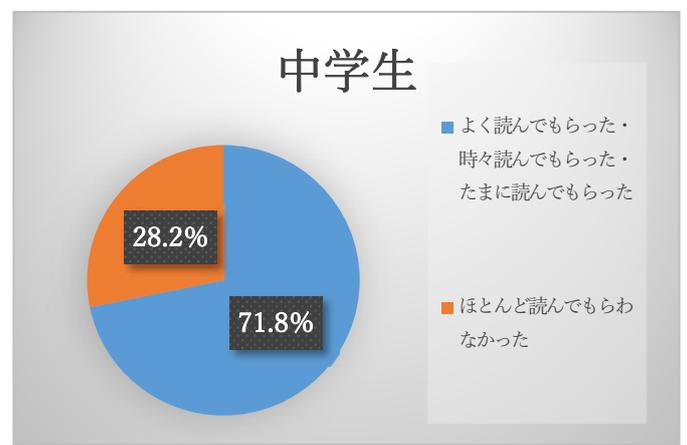
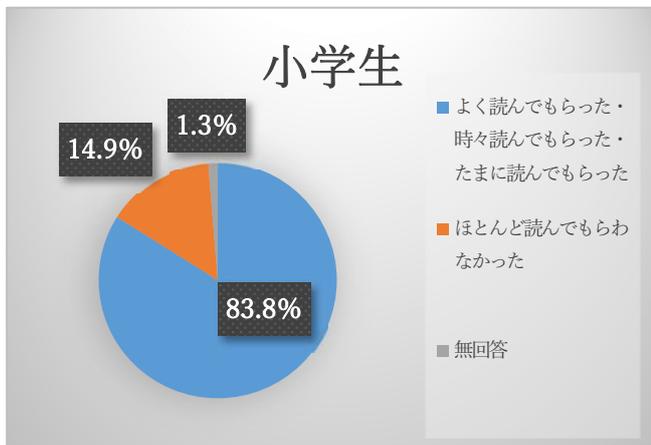
	小1	小2	小3	小4	小5	小6	人数	割合 %	中1	中2	中3	人数	割合 %
①本を読むのがめんどくさい			1		1	2	4	40.0	2	2	1	5	31.3
②ほかにしたことがある					1	4	5	50.0	1	3	1	5	31.3
③本を読む時間がない				1			1	10.0	1	0	2	3	18.7
④その他							0	0.0	1	0	2	3	18.7



●【問3】「あなたは、小さい時に、家の人に本を読んでもらったことがありますか？」

「小さい頃に家の人に本を読んでもらった」ことの設定に対し、全体で85.8%（小学生84.8%、中学生71.8%）と回答しており、幼少期からの本への親しみ、ふれ合いの関連性が受け取れます。

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	人数	割合%	中1	中2	中3	人数	割合%	合計人数	割合合計%
① よく読んでもらった (ほぼ毎日)	1	7	6	3	6	6	29	39.2	3	3	3	9	23.1	38	33.6
② 時々読んでもらった (週に数回程度)	3	7	2	4	5	2	23	31.1	3	3	4	10	25.6	33	29.2
③ たまに読んでもらった (月に数回程度)	1	1	2	1	2	3	10	13.5	4	3	2	9	23.1	19	16.8
④ほとんど読んでもらわなかった (年に数回あったかどうか)	1	1	2	2	0	5	11	14.9	5	2	4	11	28.2	22	19.5
無回答		1					1	1.3						1	0.9
合計	6	17	12	10	13	16	74	100.0	15	11	13	39	100.0	113	100.0

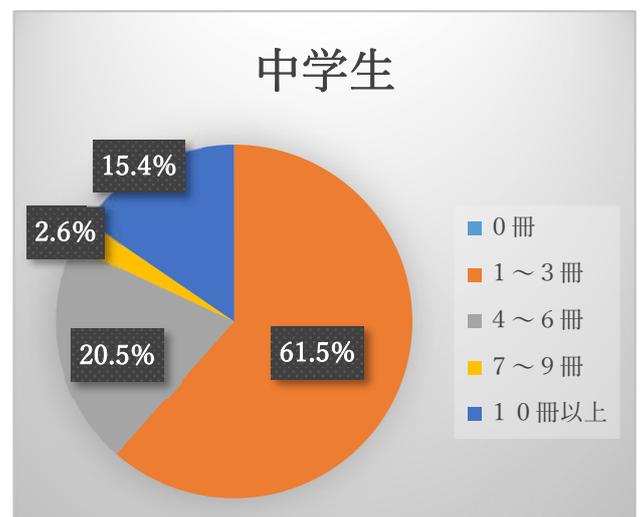
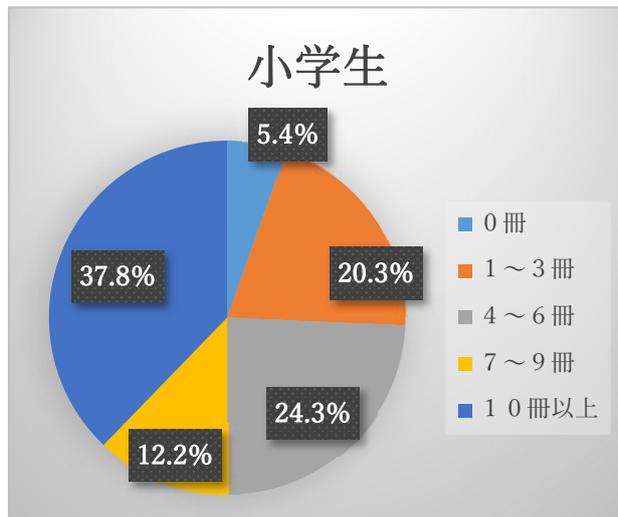


●【問4】「あなたは、最近1ヶ月に本を何冊ぐらい読みましたか？  
(教科書、まんが、雑誌を除く)」

「最近1ヶ月に本を何冊読みましたか」の設問では、「1～3冊」「4～6冊」が大半を占め、「全く読まなかった」子どもは、全体の3.5%でした。

1ヶ月の読書量で割合が多かったのは、小学生（10冊以上）37.8%、中学生（1～3冊）61.5%となっており、学齢が上がるにつれ読書量が減少する傾向が見られます。

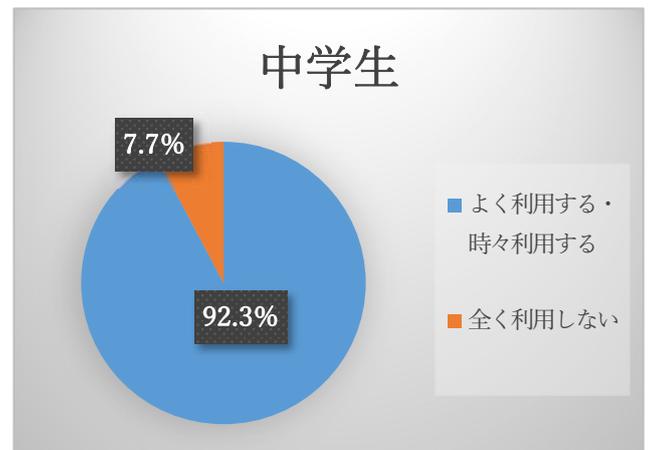
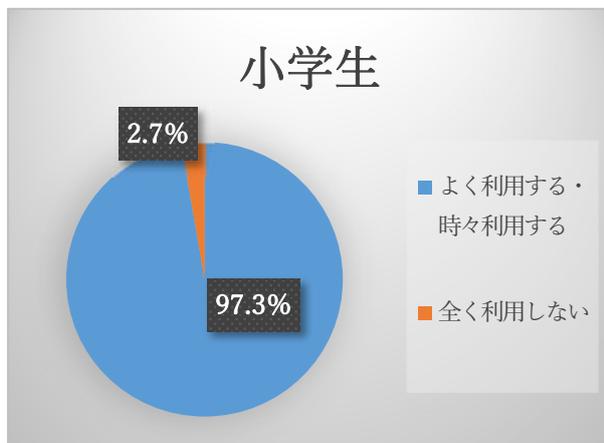
	小1	小2	小3	小4	小5	小6	人数	割合 %	中1	中2	中3	人数	割合 %	合計人数	割合合計%
①0冊	0	0	0	0	2	2	4	5.4					0.0	4	3.5
②1～3冊	1	0	2	1	3	8	15	20.3	7	8	9	24	61.5	39	34.5
③4～6冊	2	7	0	4	1	4	18	24.3	5	2	1	8	20.5	26	23.0
④6～9冊	2	2	2	2	1	0	9	12.2			1	1	2.6	10	8.8
⑤10冊以上	1	8	8	3	6	2	28	37.8	3	1	2	6	15.4	34	30.1
合計	6	17	12	10	13	16	74	100.0	15	11	13	39	100.0	113	100.0



●【問6】「あなたは、学校の図書室を利用しますか？」

学校の図書室の利用に対する設問では、小学生で 97.3%、中学生 92.3%が利用しており、非常に高い数値となっています。多くの子どもが読書に親しんでいる一方、「全く利用しない」と回答した子どもは、小学生から中学生へと学年が上がるにつれ増加しています。その理由として、「時間がない」と多くの子どもが回答しており、学習時間の増加などにより、読書から離れがちになるものと考えられます。

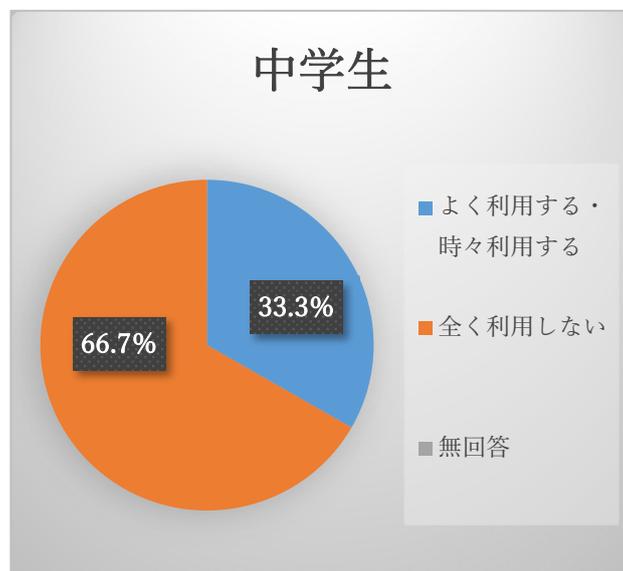
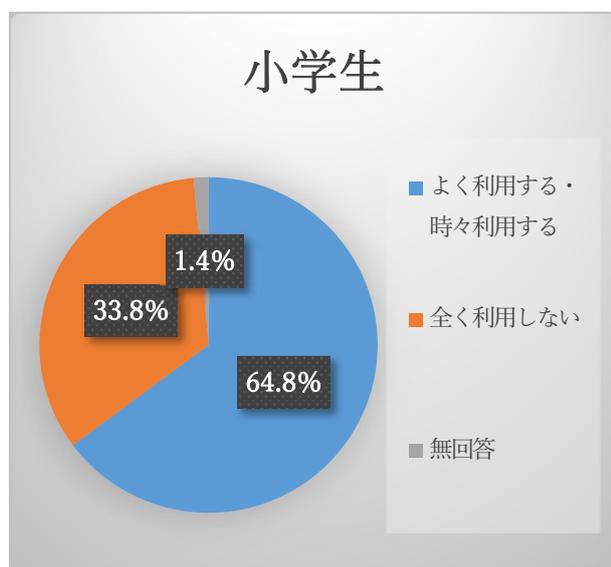
	小1	小2	小3	小4	小5	小6	人数	割合 %	中1	中2	中3	人数	割合 %	合計 人数	割合 合計%
①よく利用する	1	8	5	3	8	1	26	35.1	3	2	1	6	15.4	32	28.3
②時々利用する	5	9	7	6	5	14	46	62.2	11	8	11	30	76.9	76	67.3
③全く利用しない	0	0	0	1	0	1	2	2.7	1	1	1	3	7.7	5	4.4
合 計	6	17	12	10	13	16	74	100.0	15	11	13	39	100.0	113	100.0



●【問9】「あなたは、小値賀町立図書館を利用していますか？」

町立図書館の利用に対する設問に、「よく利用する、時々利用する」と答えたのは小学生で64.8%、中学生で33.3%、全体で54%でした。小学生と比べ中学生の町立図書館の利用は半減しています。また、「全く利用しない」と回答した中学生は、小学生の2倍となっています。その理由として「町立図書館に行く時間がない」という回答が最も多く、次いで「町立図書館が近くにないから」となっています。子どもの生活そのものが忙しく、時間的な制約が生じていることが推測されます。

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	人数	割合 %	中1	中2	中3	人数	割合 %	合計 人数	割合 合計%
①よく利用する	1	5	3	3	3	3	18	24.3	1	1	1	3	7.7	21	18.6
②時々利用する	2	8	6	3	7	4	30	40.5	3	3	4	10	25.6	40	35.4
③全く利用しない	3	4	3	4	3	8	25	33.8	11	7	8	26	66.7	51	45.1
無回答						1	1	1.4				0		1	0.9
合 計	6	17	12	10	13	16	74	100.0	15	11	13	39	100.0	113	100.0

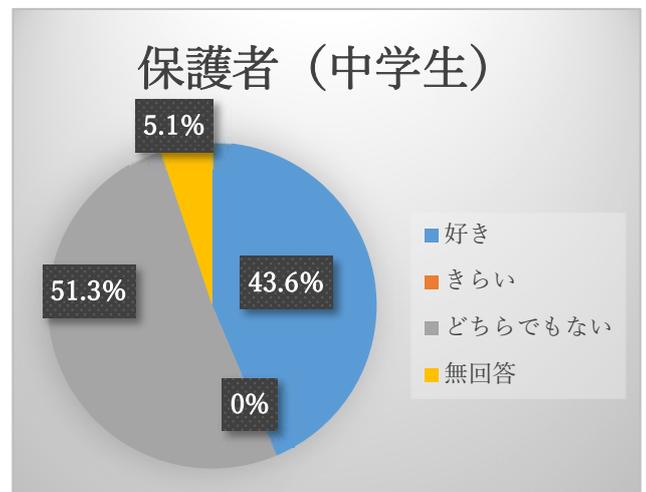
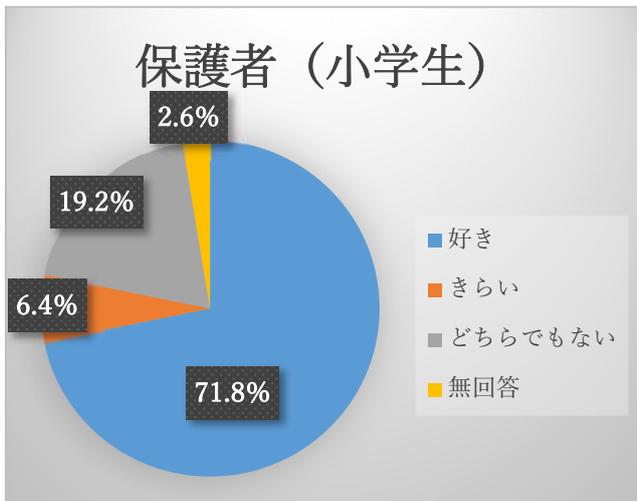


## [保護者へのアンケート]

### ●[問2] あなたは、本を読むことが好きですか？

保護者自身の読書の「好き」「嫌い」をたずねた設問では、「好き」と答えた方が62.4%、「どちらでもない」と答えた方が29.8%でした。

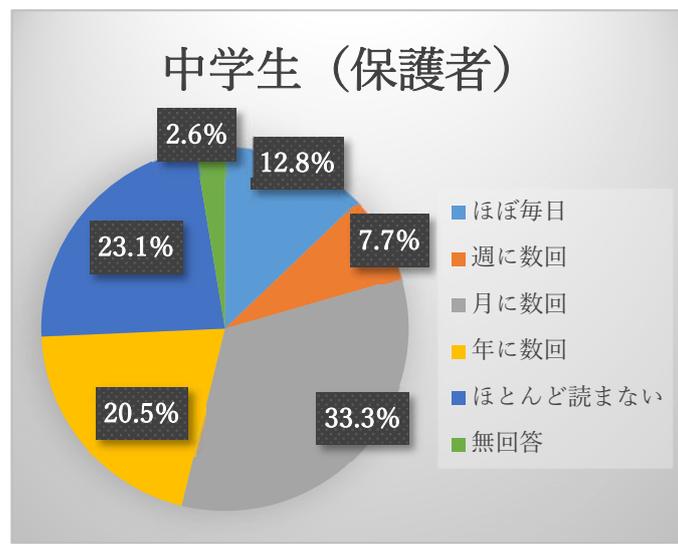
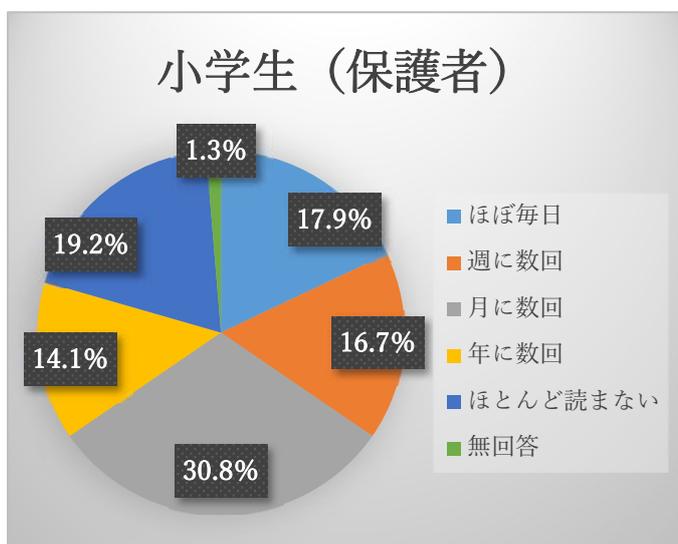
	小1	小2	小3	小4	小5	小6	人数	割合%	中1	中2	中3	人数	割合%	合計人数	割合合計%
①好き	3	12	11	12	10	8	56	71.8	7	5	5	17	43.6	73	62.4
②嫌い		1	1		1	2	5	6.4				0	0.0	5	4.3
③どちらでもない	3	3	3	2	1	3	15	19.2	7	6	7	20	51.3	35	29.9
無回答						2	2	2.6	1		1	2	5.1	4	3.4
合計	6	16	15	14	12	15	78	100.0	15	11	13	39	100.0	117	100.0



●[問3] あなたは、家で本を読むことがありますか？

「家で本を読みますか」との設定では、「読む」(①ほぼ毎日、②週に数回、③月に数回)と答えた方が61.5%の数値を示しています。約6割の保護者が、月に数回以上読書を行っています。

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	人数	割合%	中1	中2	中3	人数	割合%	合計人数	割合合計%
①ほぼ毎日		4	4	1	3	2	14	17.9	2	2	1	5	12.8	19	16.2
②週に数回		2	3	3	2	3	13	16.7	1		2	3	7.7	16	13.7
③月に数回	3	3	3	8	3	4	24	30.8	6	5	2	13	33.3	37	31.6
④年に数回		4	2	2	2	1	11	14.1	3	1	4	8	20.5	19	16.2
⑤ほとんど読まない	3	3	3		2	4	15	19.2	2	3	4	9	23.1	24	20.5
無回答						1	1	1.3	1			1	2.6	2	1.7
合計	6	16	15	14	12	15	78	100.0	15	11	13	39	100.0	117	100.0



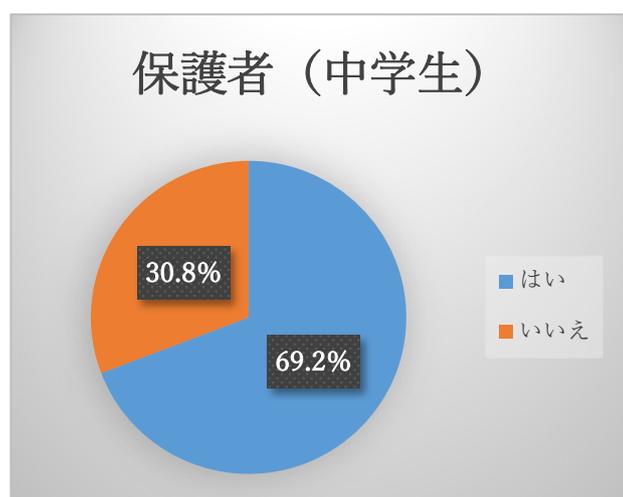
- [問4] あなたのお子さんは、読み聞かせや本は好きですか？
- [問5] あなたのお子さんは、自分で本を読むことが好きですか？
- [問6] あなたは、子どもに本を読んであげた経験がありますか？

「あなたのお子さんは、読み聞かせや本は好きですか」の設問に、82.1%の方が「好き」と答え「あなたのお子さんは、自分で本を読むことが好きですか」の設問に、「はい」と答えた方が72.6%でした。「子どもに本を読んであげた経験がありますか」の設問に70.1%の方が、「読んであげた」と答えています。

読書の「好き、嫌い」の設問に対して、小学生とその保護者においては、保護者の体感と子どもの回答は、変わらない数値でしたが、中学生とその保護者においては、子どもの数値が高くなっています。子どもの潜在的な読書欲求、本を読む家庭環境が整っていないなどが推測されます。

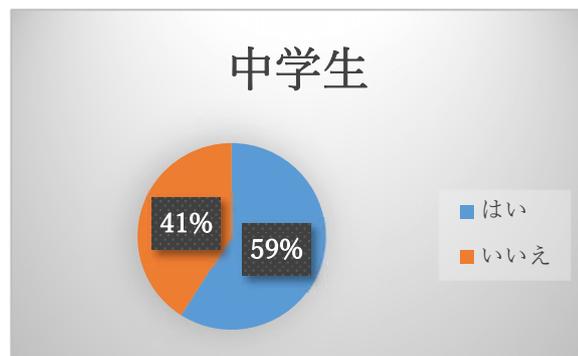
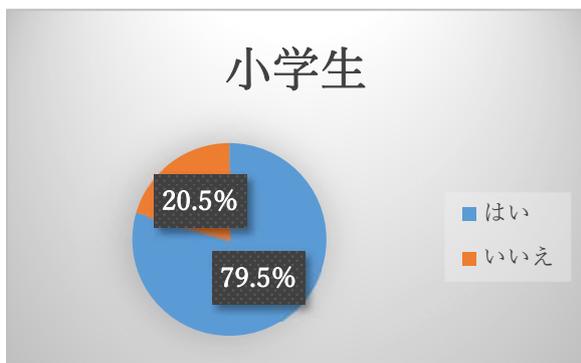
問4 「あなたのお子さんは、読み聞かせや本は好きですか？」

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	人数	割合 %	中1	中2	中3	人数	割合 %	合計人数	割合 合計%
①はい	6	15	13	13	10	12	69	88.5	11	9	7	27	69.2	96	82.1
②いいえ		1	2	1	2	3	9	11.5	4	2	6	12	30.8	21	17.9
合計	6	16	15	14	12	15	78	100.0	15	11	13	39	100.0	117	100.0



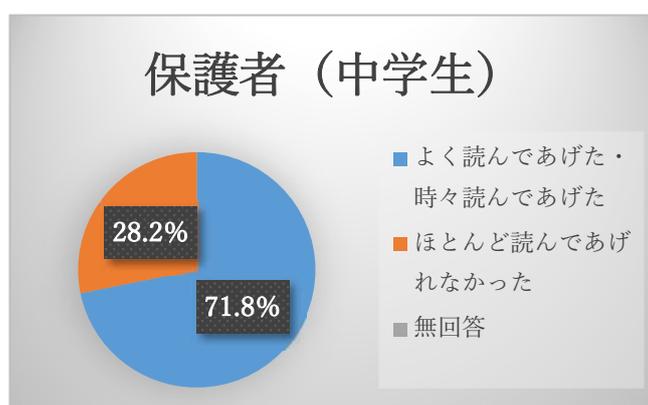
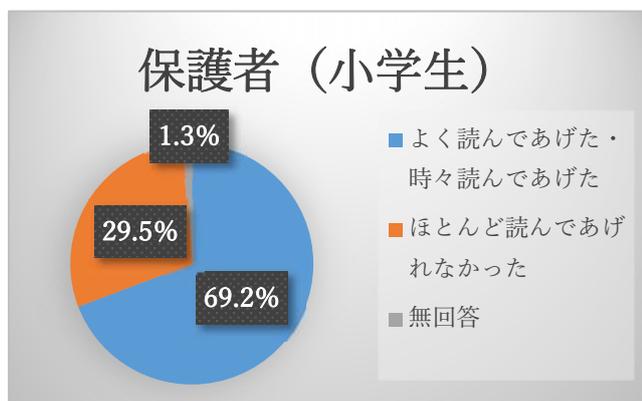
問5 「あなたのお子さんは、自分で本を読むことが好きですか？」

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	人数	割合 %	中1	中2	中3	人数	割合 %	合計人数	割合 合計%
①はい	5	14	12	11	10	10	62	79.5	9	6	8	23	59.0	85	72.6
②いいえ	1	2	3	3	2	5	16	20.5	6	5	5	16	41.0	32	27.4
合計	6	16	15	14	12	15	78	100.0	15	11	13	39	100.0	117	100.0



問6 「あなたは、子どもに本を読んであげた経験がありますか？」

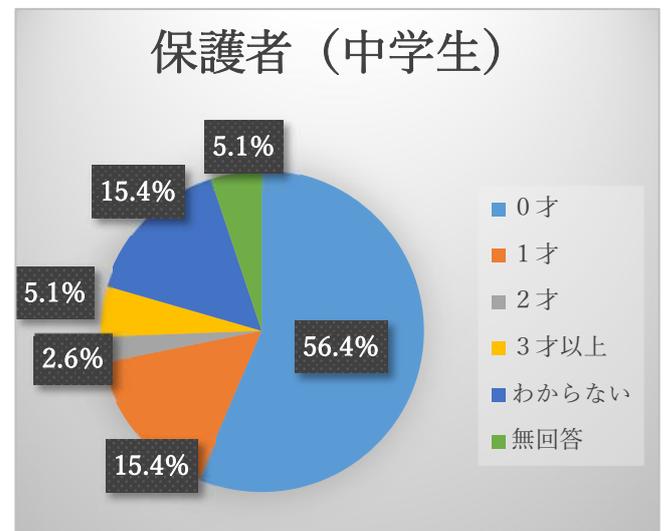
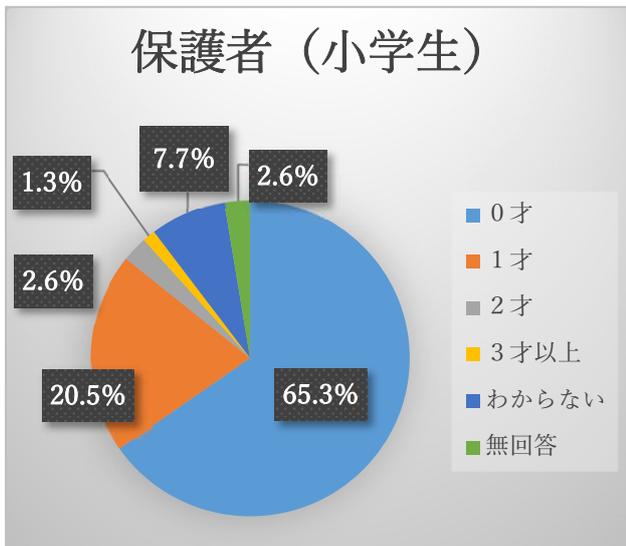
	小1	小2	小3	小4	小5	小6	人数	割合 %	中1	中2	中3	人数	割合 %	合計人数	割合 合計%
①よく読んであげた (ほぼ毎日)		5	5	6	3	3	22	28.2	4	3	5	12	30.8	34	29.1
②時々読んであげた (週に2回~3回)	2	7	6	4	7	6	32	41.0	7	5	4	16	41.0	48	41.0
③ほとんど読んであげられなかった (月に1回ぐらい)	4	4	4	4	2	5	23	29.5	4	3	4	11	28.2	34	29.1
無回答						1	1	1.3						1	0.9
合計	6	16	15	14	12	15	78	100.0	15	11	13	39	100.0	117	100.0



●[問7] あなたがお子さんに、初めて本の読み聞かせをしたのはいつ頃ですか？

「あなたがお子さんに、初めて読み聞かせをしたのはいつ頃ですか」の設問に、全体で95%の方が、「0才」「1才」時に読み聞かせをしたと答えています。多くの保護者が乳幼児期からの読み聞かせを行っている一方、約3割の保護者が「ほとんど読んであげられなかった」と回答しており、その理由として多かったのは、「時間がない」との回答でした。

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	人数	割合 %	中1	中2	中3	人数	割合 %	合計人数	割合 合計%
①0才	3	14	9	11	8	6	51	65.3	12	5	5	22	56.4	73	62.4
②1才	2		4	3	3	4	16	20.5		3	3	6	15.4	22	18.8
③2才	1					1	2	2.6			1	1	2.6	3	2.6
④3才以上						1	1	1.3	1		1	2	5.1	3	2.6
⑤わからない		1	2		1	2	6	7.7		3	3	6	15.4	12	10.3
無回答		1				1	2	2.6	2			2	5.1	4	3.4
合計	6	16	15	14	12	15	78	100.0	15	11	13	39	100.0	117	100.0

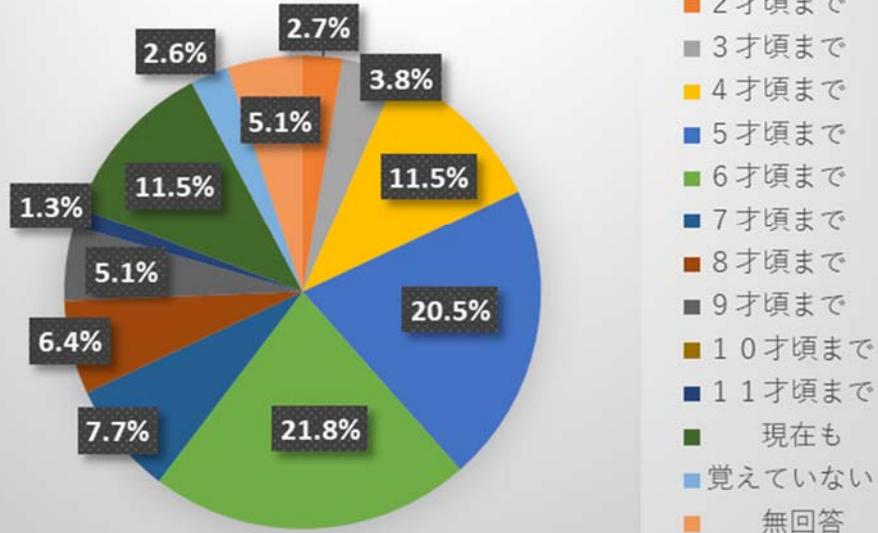


●[問8] いつ頃まで、お子さんと一緒に本を読んだり、読み聞かせをしたりしましたか？

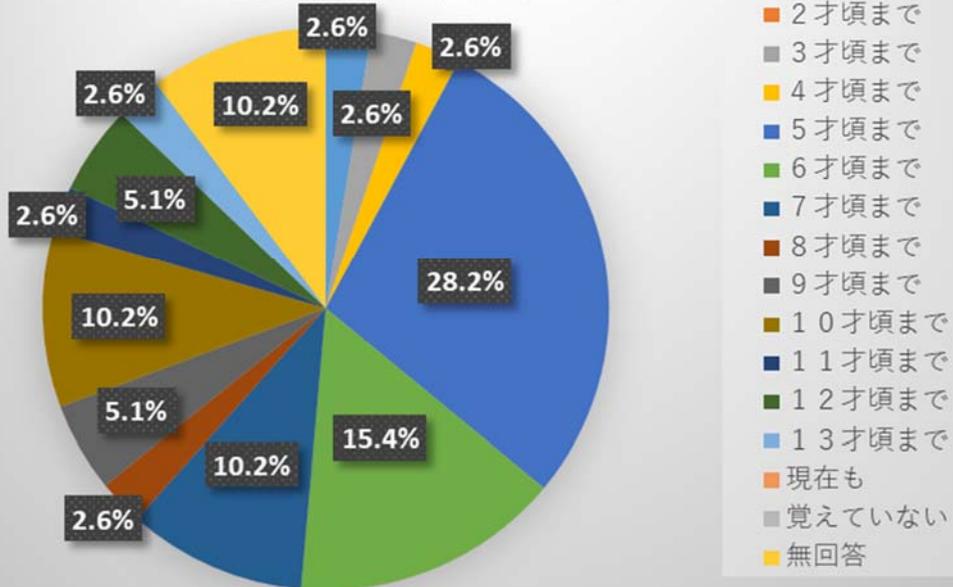
「いつ頃まで、お子さんと一緒に本を読んだり、読み聞かせをしたりしましたか」の設問では、「5才」「6才」までが多く、全体の42.7%を占めています。約半数の保護者が子どもが自分で本を読めるようになるのと同時期に、読み聞かせや一緒に読書をするをやめていることが伺えます。

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	人数	割合%	中1	中2	中3	人数	割合%	合計人数	割合合計%
1才頃まで							0	0.0			1	1	2.6	1	0.9
2才頃まで		1				1	2	2.7				0	0.0	2	1.7
3才頃まで			2	1			3	3.8		1		1	2.6	4	3.4
4才頃まで	3	2		2	1	1	9	11.5			1	1	2.6	10	8.5
5才頃まで	2	1	4	1	2	6	16	20.5	4	2	5	11	28.2	27	23.1
6才頃まで	1	7		4	5		17	21.8	4	2		6	15.4	23	19.7
7才頃まで		1	1	1	2	1	6	7.7	1		3	4	10.2	10	8.5
8才頃まで			2	2		1	5	6.4		1		1	2.6	6	5.1
9才頃まで				2	1	1	4	5.1		2		2	5.1	6	5.1
10才頃まで							0	0.0	2	1	1	4	10.2	4	3.4
11才頃まで						1	1	1.3	1			1	2.6	2	1.7
12才頃まで									2			2	5.1	2	1.7
13才頃まで											1	1	2.6	1	0.9
現在も		3	4	1		1	9	11.5				0	0.0	9	7.7
覚えていない		1				1	2	2.6				0	0.0	2	1.7
無回答			2		1	1	4	5.1	1	2	1	4	10.2	8	6.8
合計	6	16	15	14	12	15	78	100.0	15	11	13	39	100.0	117	100.0

## 保護者（小学生）



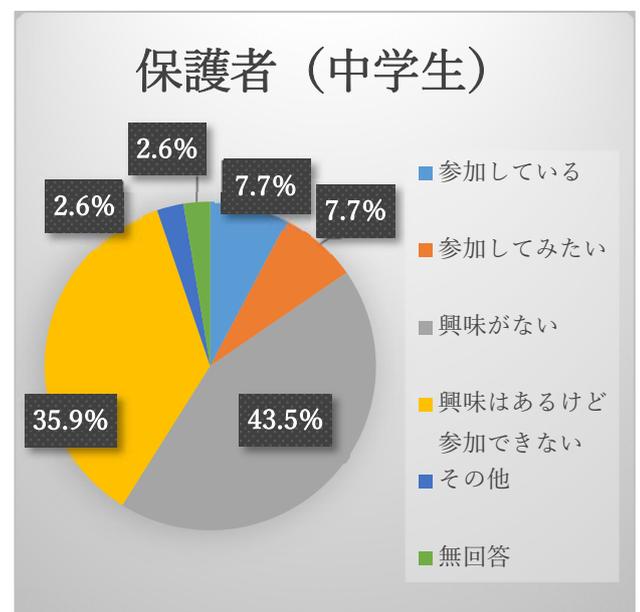
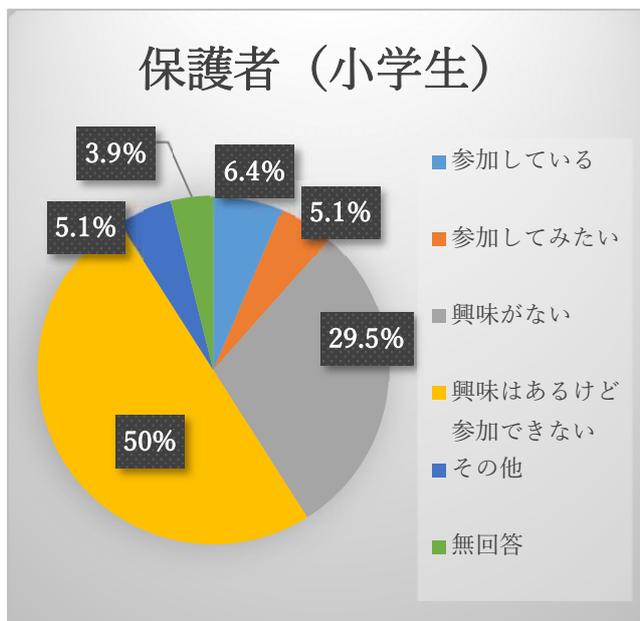
## 保護者（中学生）



●[問9] あなたは、読み聞かせなど読書に関するボランティア活動に参加したいと思いますか？

「読書に関するボランティア活動に参加したいか」の設問では、34.2%の方が「興味がない」、45.3%の方が「興味はあるけど参加できない」と答えています。興味を持っている保護者が5割を超えており、地域活動への関心の高さが伺えます。

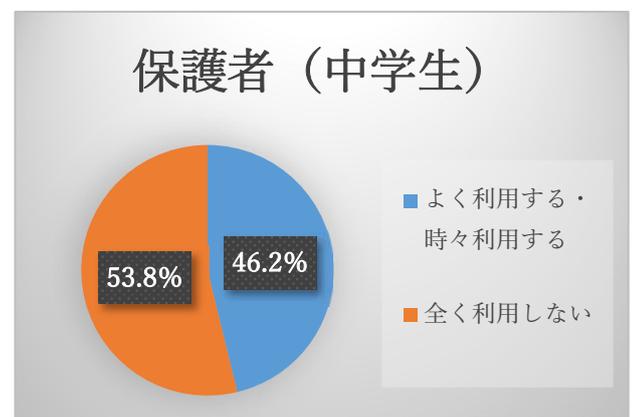
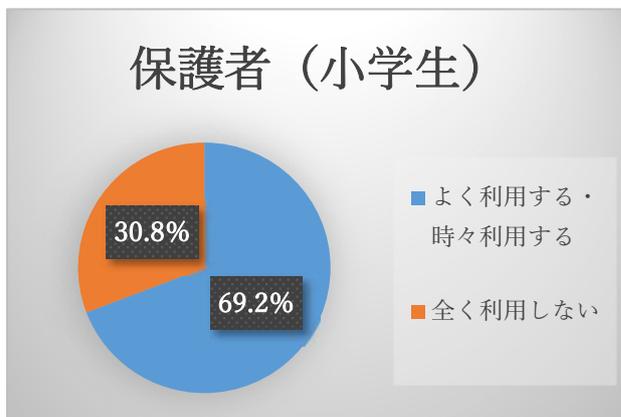
	小1	小2	小3	小4	小5	小6	人数	割合%	中1	中2	中3	人数	割合%	合計人数	割合合計%
①参加している		1	3			1	5	6.4	2		1	3	7.7	8	6.8
②参加してみたい		2			2		4	5.1	2		1	3	7.7	7	6.0
③興味がない	4	3	5	4	3	4	23	29.5	5	4	8	17	43.5	40	34.2
④興味はあるけど参加できない	2	9	5	8	7	8	39	50.0	5	6	3	14	35.9	53	45.3
⑤その他			2			2	4	5.1		1		1	2.6	5	4.3
無回答		1		2			3	3.9	1			1	2.6	4	3.4
合計	6	16	15	14	12	15	78	100.0	6	7	3	16	100.0	117	100.0



●[問10] あなたは、町立図書館を利用していますか？

町立図書館の利用に関する設問では、「よく利用する」「時々利用する」と答えた方が、全体の61.5%を占め、「全く利用しない」と答えた方が全体の38.5%となっています。

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	人数	割合 %	中1	中2	中3	人数	割合 %	合計 人数	割合 合計%
①よく利用する		6	5	2	6	3	22	28.2	3			3	7.7	25	21.4
②時々利用する	1	5	7	11	3	5	32	41.0	8	3	4	15	38.5	47	40.2
③全く利用しない	5	5	3	1	3	7	24	30.8	4	8	9	21	53.8	45	38.5
合計	6	16	15	14	12	15	78	100.0	15	11	13	39	100.0	117	100.0



このようにアンケートの結果を見ると、多くの子どもたちが幼少期の頃から本に親しみ、また保護者においても乳幼児期から積極的に読み聞かせを行うなど、すでに、子どもの読書活動の推進に取り組んでいます。

## 第3章 子どもの読書活動推進に向けた取組

### (1) こども園における読書活動の推進

町立こども園では乳幼児から就学前の子どもたちが過ごす時間の中で多くの言葉を学習します。また、子どもたちの発達段階に応じた絵本との触れ合いは、豊かな心を育み、保育教諭などの身近な大人による読み聞かせは、友達と楽しみを共有できる貴重な時間でもあります。また、図書館ボランティアなどによる読み聞かせやパネルシアターなどの活動の中で読書の導入などに取り組みます。

#### <課題>

- ①絵本、紙芝居の購入・整備
- ②保育教諭の読書活動等のスキル向上、意識向上
- ③保護者の読書活動に対する啓発

#### <取組>

- ①絵本等の購入
- ②保育教諭による読み聞かせの実施
- ③自由遊びの中で絵本に触れる環境づくり
- ④保育活動の中での図書館の利用
- ⑤ボランティアによる読み聞かせの実施



## (2) 学校における読書活動の推進

新学習指導要領では、生きる力を育むことを目指し、基本的な知識・技能を身につけ、活用し、自ら考え、判断し、表現する力を育むとともに、学習に取り組む意欲を養うことが重点に置かれています。各教科を通じて言語活動の充実を図ることが求められており、学習指導や読書指導において、学校図書館の果たす役割が一層重要なものとなっています。

学校は、学びの場、体験の場、交流の場であるとともに、子どもが読書を体験することで、生涯にわたる読書習慣の形成に大きな役割を果たします。また、習慣化した読書は子どもの国語力に強く影響し、学力の向上にもつながります。

子どもがたくさんの本と出会える場、豊かな心を育む場となる学校図書館の環境の整備を図ります。

### <課題>

- ①学校図書館の資料の充実
- ②小中高一貫教育を通じた読書指導
- ③学校図書館の学習への活用
- ④学校図書館司書の配置
- ⑤学校図書館に関わる教員の資質向上



### <取組>

#### 【小学校】

- ①学校図書整備、充実
- ②朝読の推進
- ③読書コンクールへの積極的な応募
- ④委員会活動
- ⑤中学校、町立図書館、図書ボランティアとの連携



#### 【中学校】

- ①学校図書整備、充実
- ②朝読10分間の推進
- ③アウトメディア週間の実施
- ④委員会活動
- ⑤小学校、町立図書館との連携



### (3) 家庭における読書活動の推進

家庭は、子どもが初めて触れ合う場であり、家族で読書への興味、関心を培う大切な場所です。ブックスタート事業、お話し会等を通して家族で読書に親しむきっかけづくりや読書習慣の定着につなげます。

また、核家族の増加や生活習慣の多様化、スマートフォンやゲーム機の普及により、家庭での読書の機会は少なくなっています。より良い読書環境の整備や家庭内でのコミュニケーションの時間の確保するためにも、家庭での読み聞かせや読書を推進します。

#### <課題>

- ①家庭読書の環境づくり
- ②子どもの読書習慣の定着

#### <取組>

- ①子ども読書週間に合わせた「家庭読書」の推進
- ②読書を楽しむ環境づくり



#### (4) 地域における読書活動の推進

町立図書館の図書ボランティア「おはなしの会たんぽぽ」「BOOK WORMS」、住民課びよびよ広場の図書ボランティア「お話ボランティアきらきら」は、図書館・こども園・学校での読み聞かせ活動や図書館イベントへの協力など、本町の読書活動推進の中核を担っています。また、子どもの読書活動を推進するためには、地域の方々の理解、支援が必要になります。イベント・講演会をとおして、図書ボランティアへの参加と研修会等によるボランティア会員の資質向上に努め、読書活動の定着を図ります。

##### <課題>

- ①読書活動
- ②図書ボランティア同士の連携と資質向上
- ③図書館と連携した事業運営

##### <取組>

- ①図書館、学校・こども園での読み聞かせ
- ②図書館ボランティアとして読書環境の整備
- ③ブックスタート事業への参加



## (5) 図書館における読書活動の推進

小値賀町立図書館は、地域の読書活動や学習の拠点として、また、地域コミュニティの核として、重要な役割を果たしています。

健康管理センターと連携してブックスタート事業を展開し、保護者と地域のつながりができています。

図書館は、地域の子どもたちの読書活動を推進する上で中心的な役割を果たしています。また、学校図書館の運営にも深く携わりながら、図書館見学や職場体験学習などを通して、子どもが本に親しめる環境づくりに努めています。

### <課題>

- ①子どもの読書活動の低下
- ②学校図書館、こども園との連携
- ③図書ボランティアとの連携
- ④図書館職員の資質向上



### <取組>

- ①読書活動の定着に向けてのイベント（年3回実施）
- ②乳幼児や児童の魅力ある図書の購入
- ③学校図書館への指導助言
- ④図書ボランティアと連携した読み聞かせ等の活動
- ⑤図書ボランティアへの活動支援
- ⑥ブックスタート事業への協力
- ⑦県内開催の研修会等への参加



## 第4章 計画の数値目標

この計画は、本町における子どもを取り巻く読書環境を整備し、子どもたち自らが生涯にわたり、読書を楽しむようにするためのものです。そのため、次のとおり計画の数値目標を定め、計画の進捗状況を把握するための指標とします。

### 1 学校図書館の児童生徒の貸出状況

指標内容	現状値 (R4)	目標値 (R10)
児童生徒一人当たりの貸出冊数	小学校：81.6冊 中学校：21.1冊	小学校：90冊 中学校：23冊

### 2 町立図書館の貸出状況

指標内容	現状値 (R4)	目標値 (R10)
町民一人当たりの貸出冊数 (個人への貸出冊数)	7.62冊	9冊
町立図書館の総貸出冊数	18,673冊	20,000冊
団体への貸出冊数	1,516冊	2,220冊
地域にかかわる団体への貸出冊数	244冊	300冊
学校関係への貸出冊数	1,379冊	1,920冊

※町民一人当たりの貸出冊数（個人貸出）

※総貸出冊数（個人、団体）

※団体への貸出冊数：町内のこども園や学校（16団体）への1ヶ月当たりの貸出数を30冊とし、地域にかかわる団体（5団体）への貸出数を1ヶ月当たり5冊と想定した数値。

# 子どもの読書活動の推進に関する法律

(平成十三年十二月十二日 法律第百五十四号)

## (目的)

**第一条** この法律は、子どもの読書活動の推進に関し、基本理念を定め、並びに国及び地方公共団体の責務等を明らかにするとともに、子どもの読書活動の推進に関する必要な事項を定めることにより、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって子どもの健やかな成長に資することを目的とする。

## (基本理念)

**第二条** 子ども（おおむね十八歳以下の者をいう。以下同じ。）の読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであることにかんがみ、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない。

## (国の責務)

**第三条** 国は、前条の基本理念（以下「基本理念」という。）にのっとり、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的に策定し、及び実施する責務を有する。

## (地方公共団体の責務)

**第四条** 地方公共団体は、基本理念にのっとり、国との連携を図りつつ、その地域の実情を踏まえ、子どもの読書活動の推進に関する施策を策定し、及び実施する責務を有する。

## (事業者の努力)

**第五条** 事業者は、その事業活動を行うに当たっては、基本理念にのっとり、子どもの読書活動が推進されるよう、子どもの健やかな成長に資する書籍等の提供に努めるものとする。

## (保護者の役割)

**第六条** 父母その他の保護者は、子どもの読書活動の機会の充実及び読書活動の習慣化に積極的な役割を果たすものとする。

## (関係機関等との連携強化)

**第七条** 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策が円滑に実施されるよう、学校、図書館その他の関係機関及び民間団体との連携の強化その他必要な体制の整備に努めるものとする。

## (子ども読書活動推進基本計画)

**第八条** 政府は、子どもの読書活動の推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（以下「子ども読書活動推進基本計画」という。）を策定しなければならない。

2 政府は、子ども読書活動推進基本計画を策定したときは、遅滞なく、これを国会に報告するとともに、公表しなければならない。

3 前項の規定は、子ども読書活動推進基本計画の変更について準用する。

**(都道府県子ども読書活動推進計画等)**

**第九条** 都道府県は、子ども読書活動推進基本計画を基本とするとともに、当該都道府県における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該都道府県における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画（以下「都道府県子ども読書活動推進計画」という。）を策定するよう努めなければならない。

2 市町村は、子ども読書活動推進基本計画（都道府県子ども読書活動推進計画が策定されているときは、子ども読書活動推進基本計画及び都道府県子ども読書活動推進計画）を基本とするとともに、当該市町村における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該市町村における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画（以下「市町村子ども読書活動推進計画」という。）を策定するよう努めなければならない。

3 都道府県又は市町村は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画を策定したときは、これを公表しなければならない。

4 前項の規定は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画の変更について準用する。

**(子ども読書の日)**

**第十条** 国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるため、子ども読書の日を設ける。

2 子ども読書の日は、四月二十三日とする。

3 国及び地方公共団体は、子ども読書の日趣旨にふさわしい事業を実施するよう努めなければならない。

**(財政上の措置等)**

**第十一条** 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策を実施するため必要な財政上の措置その他の措置を講ずるよう努めるものとする。

**附 則**

この法律は、公布の日から施行する。

## 小値賀町子ども読書活動推進計画策定委員会設置要綱

### (設置)

第1条 小値賀町子ども読書活動推進計画（以下「計画」という。）を策定するにあたり、必要な事項について検討するため、小値賀町子ども読書活動推進計画策定委員会（以下「策定委員会」という。）を設置する。

### (所管事項)

第2条 策定委員会は、次に掲げる事項について検討し、その結果を小値賀町教育委員会（以下「教育委員会」という。）に報告する。

- (1) 計画の策定のために必要な事項
- (2) 前号に掲げるもののほか、子どもの読書活動の推進について、小値賀町教育長（以下「教育長」という。）が必要と認める事項

### (組織)

第3条 策定委員会は、次に掲げる者及びその職にある者をもって組織し、教育委員会が委嘱する。

- (1) 学識経験者 2名
- (2) 小値賀小学校を代表する者
- (3) 小値賀中学校を代表する者
- (4) こども園を代表する者
- (5) PTAを代表する者
- (6) 子育て支援団体を代表する者
- (7) 教育次長

### (委員長)

第4条 策定委員会に委員長を置き、委員の中から教育長が指名する。

2 委員長は、会務を総括し、策定委員会を代表する。

3 委員長に事故があるとき又は委員長が欠けたときは、あらかじめ委員長が指名する委員がその職務を代理する。

### (委員の任期)

第5条 委員の任期は、原則として、第3条の規定による委嘱の日から計画の策定が終了するまでとする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会議)

第 6 条 策定委員会の会議は、必要に応じて委員長が招集する。ただし、本要綱施行後の最初の策定委員会は、教育長が招集する。

2 策定委員会が必要と認めるときは、会議に委員以外の者の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。

(事務局)

第 7 条 策定委員会の事務局は、小値賀町立図書館に置く。

(その他)

第 8 条 この要綱に定めるもののほか、策定委員会について必要な事項は、教育長が別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この要綱は、告示の日から施行する。

(失効)

2 この要綱は、策定委員会が第 2 条に規定する所掌事項の処理を完了した日限り、その効力を失う。

## 子ども読書活動推進計画策定委員会委員名簿

区 分	氏 名	役 職	備 考
委員長	小 川 広 孝	小値賀小学校長	図書館協議会委員
副委員長	上 野 公 洋	小値賀中学校長	
委 員	松 原 佐 値 子	学識経験者	図書館協議会委員
	柳 原 彩 湖	学識経験者	おはなしボランティアグループ
	島 田 聡 士	こども園長	
	谷 元 芳 久	福祉事務所長	
	山 元 忍	小値賀小学校PTA会長	
	畑 村 尚 志	小値賀中学校PTA会長	
	中 村 奈 津 子	子育て支援団体代表	図書館協議会委員 おはなしボランティアグループ
	牧 尾 豊	教育次長	
事 務 局	堺 宗 久	図書館長	
	大 田 議 嗣	教育生涯学習班班長	
	津 田 朋 子	図書館司書	

（敬称略）